



全国高校総体で小林西高女子ソフト部が準優勝

小 林西高校女子ソフトボール部が、富山県で行われた全国高校総合体育大会で初の準優勝を果たしました。女子ソフトボールでの準優勝は、宮崎県勢初です。

全国高校総体は、7月29日～8月1日にかけて開催。48チームが日本一を争いました。小林西高は、3回戦で、愛媛県の強豪済美高校と対戦。一点をリードされた最終回に逆転し勢いに乗ります。決勝では、連覇を狙う神奈川県厚木商業に惜しくも1点差で敗れました。

同部は、8月31日、肥後市長を訪問し、快挙を報告。賞状や、準優勝カップを手に、大会を振り返りました。

黒木秀美監督は「みんながつなぐというチームの持ち味が出た。たくさんの方が応援してくれた結果で、本当に



感謝したい」。主将の谷口優さん(3年)は「3回戦は、みんなでつなぐ逆転した心に残るゲームだった。全員で目標を高く持って臨んだ大会だったので、結果が残せてよかった。西高ソフト部らしく、3年生を中心に強いチームワークで戦えた」と笑顔で報告。また、後輩には「自分たちは全国制覇を目標にして、最後に負けた。最後まで諦めず戦い抜くチームになってほしい」とエールを送っていました。



小林高校女子、延岡学園男子を日本一に導いた北郷純一郎氏が監督に就任 頑張れ！宮崎シャイニングサンズ



▲ダンクを決めるカニングハム選手

日 本プロバスケットボールリーグ(Bリーグ)の宮崎シャイニングサンズの監督に、小林高校女子や延岡学園男子を日本一に導いた北郷純一郎氏が監督に就任しました。

9月7日には、監督就任を肥後市長に報告。北郷監督は「プロは初めてだが、県民に頑張る姿を見せたい。まずはプレーオフ出場を目指し、2～3年以内に優勝争いができ



▲市長への就任報告にて【左端が北郷監督】



▲ブラウン選手がチーム最多の32得点の活躍

るチームにしたい。宮崎県のバスケットボールが発展していく基盤作りができれば」と抱負を語っていました。

9月15日には、小林市市民体育館で、鹿児島県成年男子選抜を迎え、プレシーズンマッチを開催。会場には、約1000人が訪れ、迫力のプレーに酔いしれました。試合は、北郷監督の指揮のもと、シャイニングサンズの選手が躍動。新加入の外国人選手の迫力あるダンクなどもあり、94対78で勝利。新シーズンへ好スタートを切りました。

レギュラーシーズンは、10月13日に都城市早水公園体育文化センターで開幕。北郷監督を迎えた宮崎シャイニングサンズの活躍に期待です。



「全力で挑む生徒たち」学校スローガン～伸ばせ個性、引き出せ個性～ 小林市立野尻中学校 3年 上野 晴香

小 林市立野尻中学校の良いところを紹介します。はじめに、「あいさつ」についてです。

立ち止まって、気持ちのよいあいさつができること。まず、これが野尻中学校のすばらしいところ。地域の方々、先生方、そして先輩や友だちに対する敬意があいさつに表れています。また、「毎朝のあいさつ運動」にも積極的に取り組んでいます。各部活動ごとに曜日を決めて行っています。毎朝、校門であの元気のよい心のこもったあいさつを交わすと、嫌な気持ちになることはありません。今日も一日頑張れるという気持ちが出てきます。これは、野尻中学校の伝統になっています。

次に、「何事にも一生懸命に取り組む姿勢」です。学習については勿論ですが、部活動や習い事など、自分たちのもっている個性の伸張のために、野尻中の生徒一人一人が真剣に色々なことに打ち込んでいます。部活動では、毎日の活動を通して、野尻中学校



▶リーダーとしての自覚について

の生徒(愛校心)であることに自信と誇りをもち、友との絆を深め、技術向上や人間性を育むために必死です。また、ボランティア活動にも積極的に、私たち三年生は全員が「認知症サポーター」のための講座も受講しています。

最後に、「リーダー研修会」の実施についてです。今年、野尻小、栗須小の児童と一緒に一泊二日のリーダー研修会を実施しました。生徒会のメンバーを中心に、小中連携しての実践事項や野尻中校区ならではのリーダーについての話し合いを行いました。小中の9年間で、自分たちの力で学校を築いていくことの大切さや必要性を感じることができました。これからは色々なことに挑戦していきたいと考えています。



国際交流『シャネットの徒然なるままに』

畳化?



▶まさか畳化? いや、もと正座が好きなんです。

L a s s m i c h m a i n a c h d e n k e n ! (うーん、ちよつと考えさせ) ドイツ人がこういう風に答えるようになったら、おそらく畳化している証拠です。約60年前、フランスからtatamiserという動詞が日本に入ってきました。直訳すれば、「畳化をする」という表現になりますが、日本滞在中の外国人が日本に感化されて、同化してしまうことを表します。

日本生活様式の象徴のように挙げられている畳は、50年代に日本に来た外国人たちにとって、異国情緒あふれるものだったのではないのでしょうか。昔は、「畳化」に含まれる意味があまりよくなかったのですが、今日はそうでもあり

ません。日本に滞在したことがあるドイツ人の中で、「自分が畳化したんだな」と自慢する人も少なくないと思います。特に、漫画に憧れる若い世代の人たちが多いです。畳化する前兆はさまざま。最初は回りに対する期待が定着してしまいます。その次は、自分の癖も同化されてしまいます。最強の畳化のレベルは自分の考え方や行動まで影響を受けることです。

◆例・レベル1 帰国した後、タクシードアが開くのを待ちます。タクシーの自動ドアは、日本独特のものなのです。

◆例・レベル2 相づちを打ち始めます。電辞儀(電話で話しながら、お辞儀をすること)も畳化の立派な象徴です。

◆例・レベル3 外国人を見たとき「ああ、外国人だ!」と思ったり、自分が答えをはっきり分かっている、質問されると曖昧な回答をしてしまったりします。自分はこれからだんだん畳化するのでしょうか?